

# ブルーンスター



この学年通信の名前は2組の       さんが考えてくれました。この青学年が星のように輝き、学校を引っ張っていただけますように。そしてブルーンスターはメインの花ではなくて、脇役的な存在。輝くだけではなく、裏でも支えていける学年になりますように…。花言葉は「信じあう心」。クラスメイトを信じながら、行事や受験に向かって進んでいけますように…という思いが込められています。

変則的な木曜発行号となりました。言わずと知れた、明日は都立一次入試・分割前期募集試験の為、皆さんに手渡せるのが今日だからです(´ー´)ノ



## 来週の予定



日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
24	月	振替休日	
25	火	期末考査1日目(音楽・社会・理科)	白衣
26	水	期末考査2日目(美術・技家・国語)	
27	木	期末考査3日目(保体・数学・英語) 学習者用iPad返却シート提出 $\times$ 切 自己PRカード・キャリアパスポート返却	
28	金	50分授業 $\times$ 6 1, 2年生学力テスト ⑥卒業遠足前日指導	白衣持ち帰り

- ※ 進路に関わる重要なお知らせは、t e t o r u にてその都度お知らせしますのでご確認ください。
- ※ 27日(木)に自己PRカードと、キャリアパスポートを返却します。高校へ提出する大切なものですから、家庭で大切に保管してください。昨年度、自己PRカードは各家庭から進学先の高校へ郵送しました。その際には、他にも同封する書類の指示があったそうです。各自内容は違うかもしれませんが、漏れのないように準備をして期日までに郵送してください。
- ※ 28日(金)の6校時に卒業遠足(金沢八景島シーパラダイス)前日指導を行います。3月3日(月)が都立の合格発表の為28日に行います。説明をよく聞いて、間違いのないように気をつけてください。まずは気持ちよく卒業遠足に行けるように、明日の受験を精一杯頑張ってきてください!!
- ※ 明日入試試験のない人達は1時間目の学活が終わったら下校になります。昼食の準備を保護者の方に伝える事と、15時半までは家を出ないように。クラスメイトが試験会場で頑張っています。自分は関係ないという考えにならないようにしてくださいね!!

## 明日の試験に向けて…

とうとう明日は都立入試(一次・分割前期)が行われます。多くの人達は、この受験校が本命です。昨年の夏休み前から進路希望調査を募り、自分の進路実現に向けてみんな頑張ってきました。当初に志望していた高校をそのまま受験する人もいれば、志望校を変更した人もいます。その理由は推薦入試の結果から志望校を変えたり、倍率をみてだったり、2学期以降の学習努力の伸び具合で志望校を変えた人もいてまちまちです。ここまで随分と長い道のりでした。プレッシャーに押しつぶされそうになった事もあったと思いますが、いよいよ明日が本番です。今の気持ちはどうですか。「全然楽勝!!」という人はいないはず。きっと、「大丈夫かな??」という思いの人が殆どだと思います。それが当たり前です。みんな不安なんです。テストできるかな…と不安になるのではなく、ここまで頑張ってきた日々を思い出して、今までの努力を精一杯発揮してください。先にも述べましたが、みんな不安なんです。自分だけがドキドキしているわけではありません。ここまで来てじたばたしても仕方ありません。今日はいつもより少し早く寝てくださいね。寝坊だけは気をつけて!ここまで真面目に取り組んできた自分に誇りを持って、約束を守ってしっかり受験をしてきてください。みんな応援してます。

裏面に続く

## 学習者用 iPad 返却に向けて

本日、皆さんに貸与している iPad の返却作業に伴う、チェックシートを配布しました。このチェックシートは前述の予定表にも記載した通り、27日が提出締切になっています。チェックシートに記載されている7つの項目を保護者の方に確認していただき、チェックシートに記入してください。既に、ケーブル等の破損や紛失については事前に調査を実施しました。今回は iPad 本体に関わる調査になります。皆さんから回収した iPad は初期化されたうえで、新一年生に貸与されます。記入漏れがないように、保護者の方と一緒にチェックを行って、確認ミスがないように注意をしてください。なお、初期化をするにあたり、各自設定しているパスコードを記入する欄がありますので、併せて記入漏れがないように気をつけましょう。借りた時よりも綺麗にして返したいものですね。



### 学年主任のつぶやき

明後日、2月22日はニャンニャンニャンで『猫の日』。こんな見かた目をしているけれど、犬派か猫派か聞かれたら「猫派」と即答する。犬への愛着がないわけではない。実家の団地住まいをしていた時、隣に住んでいた隣の家にはマルチーズが飼われていて、名前は「ロン」。隣のおばさんが麻雀好きとか、アメリカ大統領のファンだった訳ではないと思うが、ロンは人懐っこくてよく遊びに行った覚えがある。教師になってからも教え子の家にいたポメラニアンの子猫は、試合後に遊んだ記憶があって、「ポンちゃんバイバイ〜」って言うと、もっと遊びたいのか必ず吠えて抗議していた（笑）。それでも自分は猫派だと思う。もう50年近く前、夏休みになると結構長い期間を山形で過ごしていた。山形の家は2階をアパートとして貸し出していたし、母屋と別に離れが2棟あってかなりの敷地。じいちゃんとはあちゃんの二人暮らしだったからか、物心がついた時には田舎には猫が住んでいて、離れの建物の下に住み着いていた。いまだに野良猫がいるくらい野生の本能を忘れていない猫らしく、夏にしか見かけない顔に懐くわけがなく、猫に触れたい一心で追いかけては「シャー！！」と威嚇されていた。そもそも田舎には飼い猫文化が殆どなく、多くは餌が貰える家の軒下に住み着いた野良猫がメインだけれど、前述したように雨を凌げる場所が多い我が家は、人一倍猫がいたように思う。海沿いの田舎では、産まれた子猫の数が増えると海に流してしまう家庭もあった。それが忍びないとなると、猫が多いうちの田舎の家に捨てていく。可愛そうと思ったばあちゃんが餌をあげるから、その数は増えていく。親でもないけれどお乳を分けてくれる優しい母猫もいたり。外猫なので、猫風邪をひいたり、車にひかれて虹の橋を渡る猫もいるし、いつの間にか他の家の飼い猫に収まっている猫もいる（笑）ここまで書くと、我が田舎は猫屋敷でかなり荒れていたように思われるかもしれないけれど、家に上がってくるのは1〜3匹くらいだったから、家の中に猫の存在を感じることは少なかった。自分たちが東京からきているからだろうと思うかもしれないけれど、家に上がってくるボス猫と数匹は、そんなことにはお構いなしに網戸に爪を立てて勝手に開けて入ってくる。寝転んでテレビを見ている時に、ふと気配を感じて振り向くと猫がこっちをジッと見ているなんて場面が思い出せる。「おまえ、まだいたのか」ってな目つきだったけれど( \_ \_ )。ばあちゃんに「家に入ってきたときはご飯食べに来た時だから、追いかけてあげてよ」って言われていたから、そんな時はこっちも見ていただけで我慢していると、のしのしと台所に歩いていく。外猫には三毛猫が多く、子猫も多かった。じいちゃんもばあちゃんも決して裕福ではなかった中で、猫たちに餌を与えていたのだろうと思う。そんな二人に猫たちも懐いていて。ばあちゃんが外に餌を出す時などは、ばあちゃんの周りに猫がたくさん集まってきたり、優しくなでてあげていた。そんな姿を見て育ったからか、今でも街中で猫を見かけると、つい足を止めて呼んでしまう。まだバイクに乗っていたころ、羽田空港近くの城南島公園に走りに行ったら砂浜で本を読んでゆっくりした。最近では荒川土手に住んでいる野良猫にも餌をあげているボランティアの方もいて、野良猫に去勢手術を施して元に戻す活動をする方もいる。そういった方の影響か、城南島公園にも野良猫が住み着くようになった。人懐っこくて、座っていると向こうから近寄ってきて膝の上に乗ってきたり、なでてくれと言わんばかりに頭を擦り付けてくる猫もいる。何も餌を持っていないので、せめて猫の気が済むまでなでてあげた。そのうち、他の猫も近寄ってきて、猫の国の王様みたいになっちゃったこともある。そんな猫を見ていると、不幸な猫が減ればいいなと思ったものだ。明日は猫の日。寒い冬を生き抜いてほしいなと、猫アレルギーの自分は思う。